

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路単独災害復旧事業			
予算科目	11 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 鍋田 豊樹	
実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	公共土木施設			
事業の必要性	公共施設が被災した箇所を早急に原形復旧し、市民生活環境の低下を防ぐ。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負施工	【施工場所】	伊予市内	
運営方法	【運営方法】	【運営費(予定)】		
事業の目的	異常な天然現象により生じた災害で、公共施設が被災した箇所を原形復旧し機能回復を行う。			
事業の内容	市道等の公共土木施設の機能回復を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	なし。			
改善策の 具体的 取り組み	なし。			

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	0	1,100	0	0
	人件費	0	397	0	0
	合計	0	1,497	0	0
人件費 内訳	人工数	0.00	0.05	0.00	0.00
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	397	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	1,497	0	0

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
工事請負費			1,100				
年度別事業費			1,100				
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			1,100			
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	実施事業量÷被災事業量			
指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	災害による通行止め等の解除を迅速に行うことで、市民生活の安全、安心を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	2ヶ所の被災を受けて12月議会で予算計上となった。災害復旧を行うため、地権者、隣接人家、通行制限などの同意調整に不測の日数を要したため27年度へ繰越すことになった。年度末工事は市内業者も多忙なため、繰越工事はやむを得ないものと判断している。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題